

人文学部では、2017年度から新しく欧米文化学科と日本文化学科、児童学科の3つの学科カリキュラムを横断する学部共通プログラム「人文アカデミア」を開設している。

1. 人文アカデミアについて

「人文アカデミア」は、それぞれの学科の専門の枠に縛られることなく、自分の興味、関心の幅を広げてみたいという学生を対象とするもので、既存の科目の中から一定の「科目群」を集中的に履修することによって自らの学びに新たな到達点を設定するという、挑戦的な意味をもったプログラムである。

人文学部の意欲ある学生の参加を期待している。

なお、所定の単位を修得した学生には、自己申告により「修了証／修了見込証」「上級修了証／上級修了見込証」が授与されるので、卒業後の進路において活用してもらいたい。

「科目群」は以下の4分野によって構成されている。

- ①芸術・サブカルチャー
- ②観光・グローカル文化
- ③テキストと人間理解
- ④日本に生きる・世界に生きる

2. 履修方法について(1)―講義・実技科目

任意の分野において、必要な科目を履修し、必要単位数を修得すること。

- ①A群（欧米科目）4科目12単位以上
- ②B群（日文科目）4科目12単位以上
- ③C群（児童科目／基礎総合科目）1科目2単位以上 合計36単位以上

※共通科目は、欧米・日文の学生については自学科の群と見なし、児童学科の学生については科目名後に付すアルファベットの群と見なす。

自己申告により「修了証／修了見込証」を交付。

表1-1 芸術・サブカルチャー

群	科目	単位	学年
共通	埼玉と映像 [A]	2	2～
	芸術と文化(西洋音楽) [C] ※	2	1～
	視覚・表象文化(映像文化) [A]	4	2～
	視覚・表象文化(グローバル時代の映像) [A]	4	2～
A群	社会と芸術文化A/B	4	1～
	ファンタジー論	4	2～
	芸術と文化(西洋美術)	4	2～
	芸術と文化(舞台芸術)	4	2～
	視覚・表象文化(視覚文化A)	4	2～
	視覚・表象文化(視覚文化B)	4	2～
	視覚・表象文化(映画史)	4	2～
	アメリカ大衆文化	4	2～
	表現文化実習A/B	1	2～
B群	日本文化入門	2	1・2
	地域と芸術文化	2	1～
	日本の芸能・工芸A/B(狂言)	2	1～
	日本の芸能・工芸C(華道)	2	1～
	日本の芸能・工芸D(落語)	2	1～
	出版と編集	4	2～
	放送文化	4	2～
	ナレーション	2	1～
	身体と表現	2	1～
	文芸(創作)A(小説)	4	1～
	文芸(創作)B(俳句)	2	1～
	企画制作	2	1～
	書道	2	1～
	日本の演劇	4	2～
	日本の美術	4	2～
	日本の音楽	4	2～
	日本のポップ・カルチャー	4	2～
	女性学	4	2～
	文化の社会学	4	1～
	児童文学	4	2～
C群	絵本文化 [C教養]	4	1～
	おもちゃ論 [C]	2	2～

※「芸術と文化(西洋音楽)」を日文学生が履修する場合にはC群と見なす。

表1-2 観光・グローバル

群	科目	単位	学年
共通	旅行業界論 [B] ※	2	1～
	埼玉学 [B] ※	2	2
	埼玉と映像 [A]	2	2～
	文化人類学 [B]	4	2～
A群	Intercultural Communication	4	2～
	異文化理解	4	1～
	多文化共生論	4	2～
	国際ボランティア入門A/B	2	1～
	ツーリズムと文化形成	4	2～
	ラテンアメリカ世界	4	2～
	異文化コミュニケーション実習	1	2～
	TOEIC(初級)A/B	2	1～
	就職に役立つ基礎英語	2	2～
	職場で役立つ基礎英語	2	2～
B群	日本文化入門	2	1・2
	比較宗教学	4	2～
	相関文化	2	1～
	地域と芸術文化	2	1～
	国際交流と多文化共生	2	2～
	異文化間コミュニケーション	4	2～
	韓国語コミュニケーション	2	2～
	中国語コミュニケーション	2	2～
	文化交流史(アジアと日本)	4	1～
C群	異文化間教育 [C]	2	2～
	地元学 [基]	2	1～
	宮原地域学 [基]	2	1～
	釜石学 [基]	2	1～

※はこの分野の必修。

表1-3 テキストと人間理解

群	科目	単位	学年
共通	比較文学 [A]	4	2～
	翻訳文化論 [A]	4	2～
A群	英米文学概論	4	2～
	英米児童文学	4	2～
	ファンタジー論	4	2～
	グローバル世界の歴史A/B	4	1～
	ヨーロッパ文明の形成と発展	4	1～
	ヨーロッパ近現代史	4	1～
	アメリカ文化の形成	4	1～
	English through Literature	4	2～
	B群	日本文学概説	4
日本文学史(上代・中古)		4	1～
日本文学史(中世・近世)		4	1～
日本文学史(近現代)		4	1～
日本文学の中のキリスト教A/B		2	2～
古典読解A/B		2	1・2
近現代文学読解		2	1・2
日本文学研究と批評(古典①/②)		4	2～
日本文学研究と批評(近現代①/②)		4	2～
児童文学		4	2～
言語文化論		4	2～
中国文学		4	1～
漢文学概説/訓読学		4	1～
日本史の研究(古代史特論)		2	2～
日本史の研究(中世史特論)		2	2～
日本史の研究(近代史特論)		2	2～
日本史の研究(現代史特論)		2	2～
図書館情報学概論		2	2～
図書館サービス概論		2	2～
情報メディア史		2	2～
C群		絵本文化 [C教養]	4
	聖書の世界A/B [基]	2	2
	イングリッシュ・バイブルA/B[基]	2	2

表1-4 日本に生きる・世界に生きる

群	科目	単位	学年
A群	哲学入門	2	1～
	倫理入門	2	1～
	思想(キリスト教A/B)	2	2～
	思想(科学哲学)	2	2～
	思想(倫理)	4	2～
	科学史	2	2～
	異文化理解	4	1～
	多文化共生論	4	2～
	ヨーロッパ思想の源流	2	3～
	イスラム文明	2	1～
	イスラムと現代世界	2	1～
	現代ヨーロッパ事情	4	1～
	現代アメリカ事情	4	1～
	B群	日本の思想(神道・国学)	2
日本の思想(儒教)		2	2～
日本の思想(仏教)		2	2～
日本の思想(キリスト教)		2	2～
日本思想入門		2	1・2
相関文化		2	1～
比較宗教学		4	2～
中国思想		4	2～
日本史概説A/B		2	1～
日本史の研究(近代史特論)		2	2～
日本史の研究(現代史特論)	2	2～	
C群	キリスト教と日本社会A/B [基]	2	2
	キリスト教思想史A/B [基]	2	2
	キリスト教と自然科学A/B [基]	2	2

3. 履修方法について(2)―ゼミ科目

上記の自学科以外2群の履修要件を満たし、さらに希望する場合は他学科の「専門演習」Ⅰ・Ⅱを履修できる。

履修の時期は、2年次秋学期～4年次春学期（欧米のゼミは秋学期から、日文のゼミは春学期から開始）。

希望者は、必ず前学期のうちに教務課に申請し、担当教員と面談すること。

※自学科のゼミとのダブルゼミとなる。基本的に希望のゼミを選択することができるものとする。

自己申告により「上級修了証／上級修了見込証」を交付。

表2-1 芸術・サブカルチャー

科 目	単位	学年
専門演習(英米文学)Ⅰ・Ⅱ	1	2～
専門演習(映像文化)Ⅰ・Ⅱ	1	2～
専門演習Ⅰ・Ⅱ(文化①)	1	3～
専門演習Ⅰ・Ⅱ(文化③)	1	3～

表2-2 観光・グローバル文化

科 目	単位	学年
専門演習(応用言語学)Ⅰ・Ⅱ	1	2～
専門演習(国際理解)Ⅰ・Ⅱ	1	2～
専門演習(児童英語教育)Ⅰ・Ⅱ	1	2～
専門演習Ⅰ・Ⅱ(言語③)	1	3～

表2-3 テキストと人間理解

科 目	単位	学年
専門演習(ヨーロッパ史)Ⅰ・Ⅱ	1	2～
専門演習(英米文学)Ⅰ・Ⅱ	1	2～
専門演習Ⅰ・Ⅱ(言語①)	1	3～
専門演習Ⅰ・Ⅱ(比較文化③)	1	3～
専門演習Ⅰ・Ⅱ(文学①)	1	3～
専門演習Ⅰ・Ⅱ(文化④)	1	3～

表2-4 日本に生きる・世界に生きる

科 目	単位	学年
専門演習(文化受容論)Ⅰ・Ⅱ	1	2～
専門演習(多文化共生論)Ⅰ・Ⅱ	1	2～
専門演習Ⅰ・Ⅱ(歴史・思想②)	1	3～
専門演習Ⅰ・Ⅱ(歴史・思想④)	1	3～
専門演習Ⅰ・Ⅱ(歴史・思想⑤)	1	3～